

第6学年 道徳科学習指導案

1. 主題 かけがえのない命 (D-(19)生命の尊さ)
2. 教材 「恋ちゃん—はじめての『みとり』」
3. 主題設定の理由

本学級の児童は、能登半島地震の様子をテレビで見たり、実際に揺れを経験したりしており、地震の怖さを感覚的に理解している。また、約半数の児童が防災バッグを家庭で準備しており、「命を守るために備えたい」という意識が高まっていると思われる。

本教材は、大好きだったおおばあちゃんを亡くした恋ちゃんが、お別れのあいさつをしたり、お棺に入れる物を探したりする「みとり」を通して、死を実感し、おおばあちゃんとの思い出を胸に抱きながら前向きに生きていこうとする話である。恋ちゃんが最後には笑顔になる姿から、みとりができることのすばらしさや、亡くなっても心の中で支えてくれることに気づくことができるであろう。

本時は、総合的な学習の時間「竹島防災リーダーへの道～地域と共に考える、防災対策～」で、能登半島地震を体験した山下さんの話を聞いた後に設定する。恋ちゃんの思いと、突然大切な友人を亡くした山下さんの思いを比べるよう問いかけることで、命の尊さに改めて気づき、だからこそ自分の命を精一杯生きたい、家族や友人との時間を大切にしたいという思いを高めていく姿を期待したい。

4. 本時の学習活動

ねらい		
・限りある生命のかけがえのなさを自覚し、自他の生命を尊重しようとする心情を育む。		
時間	学習活動と子どもの思い	学びを支える手だて
0	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">命の大切さについて考えよう</div> 1. 写真を見て、「みとり」とは何かを知る。 ・家族が亡くなって泣いているんだ。悲しそうだな。	手だて①-(ア) 中心人物が直面する状況を理解しやすくするために、「みとり」の写真を提示する。
3 8	2. 教師の範読を聞く。 3. 恋ちゃんの気持ちを考え、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">はじめての「みとり」を経験した恋ちゃんはどう感じているだろう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大好きなおおばあちゃんと、もう話せないし、「ありがとう」って言われることもないなんて悲しい。もっと一緒にいたい。 ・体が冷たい。本当に死んじゃったんだな。 ・私もいつか死ぬのかな。死ぬのが怖い。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで私を大事にしてくれてうれしかったな。 ・亡くなっても、心の中にいてくれる気がするから心強いよ。 ・おおばあちゃん、おばあちゃん、お母さん、私、とつながっている命。この命を大切にしないでいいかな。 ・最後に大事な物を探してあげられたし、やさしい寝顔を家族みんなで見られた。ちゃんとお別れができてよかった。 </div>	手だて③-(イ) みとりという時間を通して、恋ちゃんの思いが変化していったことに気づけるように、子どもの意見をマイナスの考えとプラスの考えに分類して板書に位置づけ、「悲しいはずなのに、なぜ寝顔を見て、笑顔になったのかな」と問う。 手だて③-(イ) 人とのつながりや家族でみとるよさにも目が向くように、家族でおおばあちゃんを囲む写真を提示したり、「みんな笑顔」という状況に注目させたりする。
18	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">命について考えたことを伝え合おう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・みとりができる家族は幸せだし、みとられる人も家族に囲まれて死ぬのは幸せだと思う。 ・死は悲しみを生むだけではない。前向きな気持ちも沸く。 ・災害で大切な人を失った人は、心の整理ができず、今もいろいろな後悔で苦しんでいるのかもしれない。 ・死をこんなに悲しんでくれる家族や友達がいるなんていいな。私も他人からそう思われるような生き方をしたい。 ・いろいろな人と一緒に生きるから人は幸せなのかな。 	手だて③-(イ) 突然の別れを経験した人の思いに寄り添うために、「能登半島地震で大切な友人を失った山下さんは、恋ちゃんのように笑顔でお別れができたのだろうか」と投げかける。
30	4. 本時の振り返りを書き、交流する。 ・命は一つしかないからとても大切なのはわかってはいたけど、〇〇くんの「みとりができて幸せ」という意見を聞いて、命は自分だけのものではないと気づいた。これからは、もっと家族や友達に感謝して生きたい。 5. 小説「最後の日とわかっていたら」の一節を聞く。	手だて⑤-(イ) 自己の生き方を見つめられるように、「限りある命を大切にするためにどう生きていきたいか」という視点で振り返りを書くよう指示する。
評価		
・「みとり」を経験した中心人物の姿を通して、命についての認識を深め、かけがえのない自他の命を尊重して生きていこうという思いを高めることができたか。(発言、ワークシートより)		